

## 「上方落語をきく会」と「おはなしの森」が 《This is MECENAT 2021》に認定されました

朝日放送グループが実施している2つの取り組みが、この度、公益社団法人「企業メセナ協議会」(当社:正会員)が主催するメセナ活動認定制度「This is MECENAT 2021」に認定されました！

ABCラジオの「上方落語をきく会」は3年連続、ABCテレビアナウンサーによる絵本の読み聞かせ会「おはなしの森」は初めての認定です。

### ◇「ABCラジオ 上方落語をきく会」

昭和30年(1955年)12月1日に旗揚げをし、毎年開催しているABCラジオ主催の落語会です。

2021年1月30日に大阪の「国立文楽劇場」において昼夜二部構成で開催された第119回公演は、感染症対策に万全を期し、計575名の皆さまにご来場いただきました。上方落語では最も歴史ある落語会で、公演の様子はABCラジオで生中継を行っています。



### 【活動の歴史と特色】

第一回公演(公開録音)は大阪・高麗橋にあった三越劇場で行いました。当時、上方の噺家はわずか9人ほどで、まさに風前の灯でしたが、この会を通して噺家さんと落語ファン、放送局とが力を合わせ、次々に熱のこもった高座を作り上げました。この会から松鶴、米朝、小文枝、春團治の「上方落語四天王」が台頭し、60年代後半には、仁鶴、枝雀、三枝、春蝶、小染といった人気者を輩出。その後も「1080分落語会」「しごきの会」「創作落語」など、落語ファンの語り草となる数々の企画を通して、今日まで幾度にも渡る上方落語ブームの火付け役になってきました。

イベントやラジオ放送を通して「上方落語」に触れる機会の創出を行い、関西の歴史ある伝統芸能文化を支える取り組みです。

## ◇ ABCアナウンサーによるこども読み聞かせ会「おはなしの森」

ABCグループが、2020年7月に新たに開館した大阪の文化施設「こども本の森 中之島」で定期的に行っている絵本読み聞かせ事業で、未来を担うこどもたちに貢献するとともに、文化施設を支援し、より良いパートナーシップ推進を図る取り組みです。

先ごろ(7月4日)開催した「第6回」では、テレビやラジオで活躍する3人のアナウンサーがエビシーと一緒に「こども本の森 中之島」の開館1周年を祝いました。



### 【活動の概要と特色】

ABC本社と同じ中之島エリアに建つ「こども本の森」は、こどもたちの素直な眼差しと感受性を大切にする「物語の聖地」をつくることをコンセプトに、建築家・安藤忠雄氏によって設計・寄贈され、館内は安藤氏の緻密な設計意図による、まさに「本の森」に包まれるような空間デザインが施されています。この場所で、未来あるこどもたちに最高の読書体験を提供するため、「おはなしの森」では毎回3人のABCテレビアナウンサーが「こども本の森」の蔵書の中から4～5冊を選び、それぞれの個性を存分に発揮して読み聞かせを披露しています。放送メディアならではのリソースを活用した「アウトリーチ型」のメセナ活動であるところが最大の特長です。

\*「おはなしの森」ホームページはこちら・・・ <https://corp.asahi.co.jp/ja/csr/mori.html>



### ◆ 「This is MECENAT」とは ◆

公益社団法人「企業メセナ協議会」が全国各地の企業や企業財団が取り組む多彩なメセナ活動に光を当て、芸術文化による豊かな社会づくりを促進していくことを目的とした認定制度で、2014年にスタートしました。

有識者6人で構成する審査委員会により、3つの視点(活動の位置づけ、活動の主体性、活動の視野)を中心に、社会・地域への思いや創意工夫を凝らした点などを含めて総合的に審査されます。

その社会的意義を発信するため、認定された活動にはシンボルとして「メセナマーク」が発行されるほか、「This is MECENAT」専用サイト([http://mecenat-mark.org/archives\\_top.php](http://mecenat-mark.org/archives_top.php))には、これまでにのべ1000件の活動が登録されています。